

「チカラがつく」

Point 1

社会に生きる全ての人の幸せを求め学ぶ。

学生の興味や進路に応じたコース制

社会福祉学科には、「ソーシャルワークコース」と「教育福祉・社会デザインコース」の2つの学修コースがあります。将来の目的に合わせたコースおよびプログラムの選択が可能です。どちらのコースでも社会福祉学を中心に学びながら、心理・教育・法律・経済・経営・医療等の分野を幅広く学び、演習、実習、フィールドワーク等で実践力を鍛えることができます。

「支援」に関する知識と技術を幅広く学び、人々の生活を支えていく。

ソーシャルワークコース

Social Work Course

生活の障害となるバリアの除去や、質の高い福祉サービスの開発・提供、人間関係・家族関係・社会関係の調整等、社会福祉専門職に必要とされる価値観や知識・技術を修得します。

学びのキーワード

#高齢者福祉 #障害者福祉 #児童福祉 #地域福祉 #相談援助
#社会福祉士 #精神保健福祉士 #コミュニケーション技術



幅広い観点から、多様な人々が共に生きやすい社会づくりに貢献する。

教育福祉・社会デザインコース

Educational Welfare and Social Design Course

特別支援教育プログラム

「福祉を基盤とした教員養成」の視点を取り入れ、学校教育、特別支援教育、教育における地域社会との連携等に関わる知識と実践力を高めています。



学びのキーワード

#特別支援教育 #病弱教育
#障がい児教育 #障がい者教育

地域づくりプログラム・ユニバーサルデザインプログラム・多文化共生プログラム

地域社会の発展には新たな発想と機動力のある働きかけが必要です。学生が主体的に参加する3つのプログラムで、新たな福祉社会を構想します。



学びのキーワード

#地域づくり #ユニバーサルデザイン
#多文化共生

国家資格や教員免許に関する専門分野のみならず、国際援助、社会的企業、障がい者スポーツ、NPO、カウンセリング、生命科学等、昨今において注目されている分野に関する教養も併せて学修。現代社会の問題解決に向けた「構想力」を養います。

「チカラがつく」

Point 2

福祉の現場を間近で感じられる実践的な学び。

豊富な演習・実習科目で実践力を養う

1年次から少人数制のゼミナールを展開し、社会福祉や特別支援教育の基礎となるコミュニケーションの技法や、対人援助の知識や技術を実践的に学びます。学生同士や教員と濃密に関わり合いながら、主体的に「人」「社会」「支援」を学べる環境を用意しています。

ソーシャルワークコース

2年次から3年次にかけて、市役所や児童相談所等の公的機関、児童・高齢者・障害者の生活や就労の場等の社会福祉施設で、合計240時間のソーシャルワーク実習を行います。

教育福祉・社会デザインコース

(特別支援教育プログラム)

2年次後半から専門のゼミナールに分かれて学修を深め、3年次には教育現場を想定した模擬的な実践にも取り組みます。4年次には教育実習と連動し、「教育者」としての自覚を深めていきます。

教育福祉・社会デザインコース

(地域づくりプログラム・ユニバーサルデザインプログラム・多文化共生プログラム)

事例検討、インタビュー調査、フィールドワーク等の演習・実習を通じて、さまざまな社会的課題の現状とその解決の方向性を学びます。

カリキュラム

卒業標準単位数: 124 教養の科目: 24 専門科目: 100

※2023年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎	基礎を学修し「学びのスタイル」を確立 学修への取り組み方や社会福祉学の基礎を学びます。演習もスタートし、学びのスタイルを確立します。	専門領域に触れ方向性を定める 「地域福祉論」「社会的企業論」等、多岐にわたる専門領域を学修。コース別演習も始まります。	現場実習をとおして社会福祉を深く学ぶ ソーシャルワークコースでは、約5週間の現場実習を実施。教育福祉・社会デザインコースは、アクティブ・ラーニングを行います。	本格的に進路を選択し卒業論文を作成する 卒業論文を作成。また、社会福祉士や精神保健福祉士等の国家試験や、教員採用試験の対策をします。
必修科目	・学修の基礎Ⅰ ・社会福祉総論Ⅰ ・ソーシャルワーク総論Ⅰ ・社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ	・仏教社会福祉Ⅰ	・社会学専門演習	・社会福祉専門演習Ⅱ (教育福祉・社会デザインコース履修者)
選択必修科目	・基礎英語1・2 ・総合英語1・2 ・基礎英会話1・2	・フィールド演習Ⅰ ・ソーシャルワーク演習Ⅰ ・地方自治論	・フィールド演習Ⅱ・Ⅲ ・ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ	・ソーシャルワーク演習Ⅳ ・社会福祉専門演習Ⅰ
選択科目	・哲学Ⅰ・Ⅱ ・教育学Ⅰ・Ⅱ ・歴史学Ⅰ・Ⅱ ・文学Ⅰ・Ⅱ ・社会学Ⅰ・Ⅱ ・政治学Ⅰ・Ⅱ ・法学 ・心理学Ⅰ・Ⅱ ・経済学Ⅰ・Ⅱ ・統計論 ・自然科学論Ⅰ・Ⅱ ・政治学Ⅰ・Ⅱ ・生物学 ・情報処理の基礎Ⅰ・Ⅱ ・ドイツの言語と文化Ⅰ・Ⅱ ・フランスの言語と文化Ⅰ・Ⅱ ・中国の言語と文化Ⅰ・Ⅱ ・コリアの言語と文化Ⅰ・Ⅱ ・健康スポーツ科学 ・スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ ・キャリア開発基礎講座Ⅰ・Ⅱ ・社会福祉の入門 ・社会福祉の歴史 ・仏教文化論 ・バイオエシックス ・教育学の基礎 ・学修の基礎Ⅱ ・英語文献講読 ・社会福祉総論Ⅱ ・ソーシャルワーク総論Ⅱ ・精神医学Ⅰ・Ⅱ ・現代社会事情 ・手話入門演習 ・音楽療法演習 ・宗教学概説Ⅰ・Ⅱ ・教育心理学 ・教職概論 ・海外福祉事情	・待合英語1・2 ・英検英会話1・2 ・精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ ・仏教社会福祉Ⅱ ・社会保険論Ⅰ・Ⅱ ・地域福祉論Ⅰ・Ⅱ ・生活困窮者支援論 ・児童家庭福祉論 ・家族福祉論 ・原居福祉論 ・高齢者福祉論 ・障害福祉論 ・共生の福祉学 ・社会福祉論 ・監査ソーシャルワーク論 ・精神保健福祉制度論 ・精神保健Ⅰ・Ⅱ ・社会的企業論 ・コミュニティ形成論 ・多文化共生論 ・原住者教育概論 ・知的障害者の心理・生理・病理 ・発達障害者の心理・生理・病理 ・消費者の心理・生理・病理 ・障害児教育アセスメント法 ・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・社会調査法 ・ソーシャルワーク基礎演習 ・ソーシャルワーク実習演習Ⅰ ・ソーシャルワーク実習Ⅱ ・ソーシャルワーク実習Ⅲ ・ソーシャルワークの理論と方法 [精神保健Ⅰ] ・精神障害リハビリテーション論 ・TOEIC®特級 ・特別支援教育課程論 ・カウンセリングⅠ・Ⅱ ・障害者スポーツ論 ・アダプティブスポーツ実技 ・倫理学とは何か ・臨床心理学 ・生涯発達心理学 ・生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ ・発達障害者教育概論 ・愛児・聴覚障害者教育概論	・キャリア開発基礎講座Ⅲ ・ソーシャルワーク演習(精神保健Ⅱ)Ⅲ ・ソーシャルワーク実習(精神保健Ⅱ)Ⅲ ・ソーシャルワーク実習(精神保健Ⅰ) ・特別支援教育実習 ・卒業論文	・ソーシャルワーク演習(精神保健Ⅲ)Ⅲ ・ソーシャルワーク実習(精神保健Ⅲ)Ⅲ ・ソーシャルワーク実習(精神保健Ⅰ) ・特別支援教育実習 ・卒業論文

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

ポイント
3

学内外の枠を超え、さらなる学びを志向する。

他分野の学びと 福祉のつながりを考える

同じ社会福祉学部所属する「子ども教育福祉学科」の学生と席を並べて学ぶ科目もあり、「社会福祉」と「保育・教育」の連携や、そのあり方を学ぶ機会も多数あります。また近隣の看護師養成校や理学療法士養成校との合同プロジェクトがスタート。学びの領域が異なる学生でグループを形成し、支援が必要な方のケアプランを作成することを通じ、互いの専門性と協働のあり方を考察する機会を設けています。



地域と密着しながら 活動の場を広げる

熊谷キャンパスにある「立正大学ボランティア活動推進センター」には、地域のさまざまなボランティア情報が集まり、専任のコーディネーターと学生スタッフが活動をサポート、学生の自発的な活動を促しています。また地元のラジオ局「FMクマガヤ」に学生が定期的出演して情報を発信。福祉・教育関連団体のみならず、地域のさまざまな企業・団体とのコラボレーションによる課外学修を展開しています。



VOICE

学生インタビュー

現場のリアルを見ることができると、 本当に大切な働き方がわかる。

中学生の時に職場体験で行った福祉施設で、スタッフの方々が高齢者や障がいのある方に献身的にサポートされている姿がずっと忘れられず、この世界に飛び込みました。

立正大学では早いうちから現場での実習を体験できるのですが、そこでは中学生の時以上の衝撃が、私を何度も襲いました。スタッフの皆さんは利用者一人ひとりの対話を通じて、その人がどんな性格なのか、どんなサポートを必要としているのか、施設内外で情報を共有して徹底した支援体制を敷いていたのです。これがプロの仕事なのだと思えて感動し、「働き方」以上に「接し方」の大切さを学んだ経験となりました。病院や児童施設へ実習に行った時も、相手の状況や年齢によって当然「接し方」は変わるわけで、こうした「社会に出てから学ぶことを先取りできる」立正大学のカリキュラムは、本当に得難い経験をもたらしてくれると思います。

これからも、実習やボランティア活動等の挑戦を繰り返し、自分が本当に働きたいフィールドを見たいと思います。

社会福祉学部 社会福祉学科 浦和学院高等学校出身

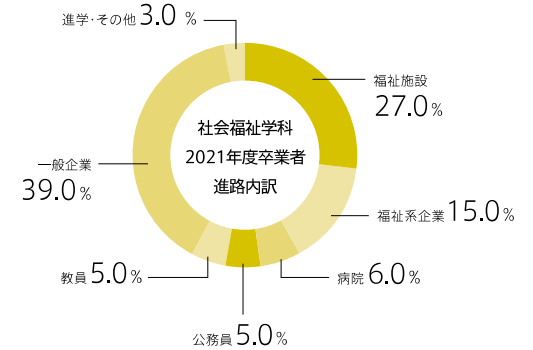
社会福祉学科独自の就職サポート

【国家試験対策講座】

一般的には4年生が受講する対策講座を、立正大学では2年生から受講可能。4年次には国家試験対策ゼミが設けられており、少人数クラスでグループ学修を行います。正課の講義や演習に対する理解を深めながら、段階的に国家試験合格へ向けた力を養うことができます。

【実務経験豊富な教員による進路支援】

特別支援学校教員や、行政・福祉施設等においてソーシャルワーカーとしての実務経験のある教員が多数在籍。就職のみならず就職後のノウハウも伝えながら、進路支援を行っています。



卒業論文テーマ

- 肢体不自由と知的障がい重複した障害児の教育実践
- ノースカロライナ州におけるTEACCHの実践
- 高齢者に対する買い物支援
- ダウン症の特徴と教育支援について
- 福祉車再と障害者モータースポーツの実態
- 埼玉県認知症カフェの現状と今後の課題
- 発達障害児に対する食育
- 東日本大震災から学ぶ要援護者支援
- グリーフケアの実態と展望
- 高齢者の化粧による生活の質の向上
- 特別支援学校卒業後の進路につながる職業教育
- 特別支援学校における音楽療法について
- 住居参加型在宅福祉サービスへの取り組み
- 外出時の障害と心のバリアフリー
- ホームセンターにおけるバリアフリーとユニバーサルデザインの実情
- 発達障害の早期発見と支援方法 ほか

免許・資格

- | | | |
|--|---|---|
| <p>【福祉専門職】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 社会福祉士(国家試験受験資格) ■ 精神保健福祉士(国家試験受験資格) ■ 社会福祉主事(任用資格) ■ 児童福祉司(任用資格)* ■ 児童指導員(任用資格) | <p>【教員免許】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者) ■ 中学校教諭一種免許状(社会) ■ 高等学校教諭一種免許状(公民) ■ 学校図書館司書教諭 | <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育主事(任用資格) ■ 博物館学芸員(任用資格) ■ 図書館司書 ■ 障がい者スポーツ指導員 |
|--|---|---|

*厚生労働省令で定める施設において1年以上相談援助に携わった者。
※各コースごとに取得可能な免許・資格が異なります。
また、資格取得にあたって、実習科目の履修にはいくつかの条件があります。

詳しくはP.16～P.18へ

進路・将来像

- 高齢者福祉施設職員(相談職・介護職)
- 障害者施設職員(相談職・支援職)
- 児童福祉施設職員(支援職・相談職)
- 病院職員(医療ソーシャルワーカー・精神科ソーシャルワーカー)
- 特別支援学校教諭
- 官公庁
- 公務員(福祉職・一般行政職・警察職等)
- 福祉NPO・NGOスタッフ
- 福祉・医療系企業
- 民間企業全般
- 大学院進学 等

詳しくはP.34へ